「第3回多摩川河口干潟生物調査・観察会と昨年の観察結果の報告会」を開催しました

5月17日（土）に、第3回多摩川河口干潟生物調査・観察会を開催しました。また、干潟観察会に先立ち5月9日（金）に東邦大学風呂田利夫教授等を講師にお招きして干潟観察講座を開催しました。

1．干潟観察講座

平成20年5月9日（金）19:00から20:30まで東邦大学医学部キャンパスにて、干潟観察講座「東京湾と多摩川河口の干潟生物観察・昨年の観察結果の報告」を開催しました。

この講座は、「第3回多摩川河口干潟生物調査・観察会」（5月17日（土）開催）の調査をより楽しく有意義に行うための事前学習として行われました。

講師に風呂田利夫東邦大学教授等を迎えて、干潟の構造や干潟に棲む生物の営み、地形の変化や地形をみるときのコツ、昨年度の観察結果などについてお話しいただきました。

干潟観察講座の様子

２．第3回多摩川河口干潟生物調査・観察会

平成20年5月17日（土）9:00から16:20まで多摩川河口干潟生物調査・観察会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、家族連れの方も含め約40名が参加されました。

参加者は3つのグループに分かれて、下の２つの方法により調査を行いました。

1. 生物多様性調査（決められた場所で30分間、できるだけ多くの種を採取します。）
2. 定量調査（決められた場所で、パイプ（直径10cm，深さ30cm）により採取した土の中にいる生物の種と数を調べます。）

調査では、ヤマトシジミやカワゴカイなど各グループとも10種類程度の生物を確認することができました。

干潟生物調査・観察会の様子